

Liberty



大阪人権博物館

〒556-0026 大阪市浪速区浪速西3-6-36
TEL.06-6561-5891 (代) FAX.06-6561-5995
ホームページ <http://www.liberty.or.jp/>

第68回特別展

「いじめと差別～人権教育のあゆみから振り返る～」

開催期間 2013年9月24日 (火) ～ 12月19日 (木)

いじめはなぜ繰り返されるのでしょうか。こどもが自死に追い込まれてからでは取り返しがつきません。もうこれ以上悲劇を繰り返してはいけません。

なぜいじめが起こるのか、なぜいじめを止められないのか。いじめられて自死をした子が弱いのでしょうか。「やり返さない」子が弱いのでしょうか。いじめられる子にもいじめられる理由があるのでしょうか。いいえ。誰にもいじめられていい理由などありません。また誰にもいじめていい権利はありません。いじめは特定の者を攻撃し排除することによって、学ぶ権利や生きる権利を奪う人権侵害です。とりわけ、いじめは体への暴力だけでなく、「無視」や「言葉の暴力」によって心に傷を負わせる「心へのリンチ」なのです。それは差別という社会的・心理的な排除と同じです。

また、いじめの構造は差別の構造とも同じです。いじめの問題を差別の問題と重ね合わせて考えてみると、いじめの本質が見えてくるのではないのでしょうか。

子どもたちの声や思いを大事にして、学校と保護者・地域、それぞれが協働しながらいじめと差別のない学校や地域社会を創造するために、この特別展はあると考えています。ぜひ、みなさまのご参加やご助言をお待ちしています。

- 【展示構成】 (1) 子どもの声が聞こえますか？
(2) 日本のいじめ・世界のいじめ
(3) いじめと差別のない社会をめざして

【会場】 大阪人権博物館 特別展示室

【主催】 大阪人権博物館

【後援】 大阪府・大阪府教育委員会、大阪市・大阪市教育委員会、堺市・堺市教育委員会

△▼△尾木ママ（教育評論家 尾木直樹さん）からのメッセージ△▼△

いじめは、いのちと平和の危機です。人間の尊厳を傷つける人権侵害の虐待行為であり、大人の市民社会では『犯罪』といえます。被害者の自己肯定感をそぎおとし、人間不信を植え付け、対人関係不全の大人にしかねません。これは人格の破壊であり、これ以上の犯罪があるのでしょうか。現代のいじめは心に深いトラウマを残すほど陰湿です。しかも被害者と加害者が容易に・瞬時に入れ替わるなど流動的で、誰もが無関係ではられません。

では、どうすればよいのか。それは、私たち一人ひとりが、いじめについて、自分のこととして考え、いじめをする人間にならないこと。大人は子どもをいじめをする人間に育てないことです。いじめの加害者が生まれなければ、いじめは起こらないからです。ジェントルハート・プロジェクトと協働して取り組まれる大阪人権博物館の特別展に期待しています。

※特別展開催期間中（9月24日～12月19日）は
日曜日（10時～16時）と土曜日（10時～17時）を開館致します。

関連企画（シンポジウム、記念講演）は裏面→

* 関連企画 *

① シンポジウム「子ども・若者の声を社会へ～いじめを体験して」

◇日時 2013年10月5日(土) 14:00~17:00

◇会場 大阪人権博物館 リバティホール

◇シンポジスト いじめを経験して語る若者(数人)
迫川 緑(関西テレビ報道部記者)

◇コーディネーター 桜井智恵子

(大阪大谷大学教授・元川西市子どもの人権オンブズパーソン)

◇参加費 入館料のみ

② 記念講演「いじめ問題の過去・現在・未来」

◇日時 2013年10月12日(土) 14:00~16:00

◇会場 大阪人権博物館 ガイダンスルーム1

◇講師 住友 剛

(京都精華大学准教授・元川西市子どもの人権オンブズパーソン調査相談専門員)

◇参加費 入館料のみ

③ 記念講演「いじめって何ですか？」

◇日時 2013年10月19日(土) 14:00~16:00

◇会場 大阪人権博物館 リバティホール

◇講師 小森美登里(NPOジェントルハートプロジェクト理事)

◇参加費 入館料のみ

④ 記念講演「いじめと差別」

◇日時 2013年11月9日(土) 14:00~16:00

◇会場 大阪人権博物館 リバティホール

◇講師 成山治彦(大阪人権博物館理事長・大阪教育大学理事)

◇参加費 入館料のみ

①のコーディネーターの紹介 【桜井智恵子プロフィール】

大津の子どもをいじめから守る委員。川西市子どもの人権オンブズパーソン前代表、現・専門員。門真市教育委員、(社)子ども情報研究センター理事、『ちいさい・大きい・よわい・つよい』編集代表。著書に『子どもの声を社会へー子どもオンブズ』(岩波新書)、『市民社会の家庭教育』(信山社)、『ふり返り教育理論講座ー論争から見えてくる日本の教育』(共著・アドバンテージサーバー)など。

②の講師の紹介 【住友剛プロフィール】

1999年、関西大学大学院文学研究科博士後期課程を単位修得後退学。その後、兵庫県川西市の子どもの人権オンブズパーソン調査相談専門員を経て京都精華大学へ。著書に『はい、子どもの人権オンブズパーソンです』(解放出版社)、共著に『子ども・権利・これから』(明石書店)、『子どもの声を聴く』(明石書店)、『指導死』(高文研)などがある。

③の講師の紹介 【小森美登里プロフィール】

昭和32年神奈川県生まれ。平成10年、高校入学間もない一人娘の香澄をいじめによる自死で失う。いじめのない暖かい教室と学校を目指し、2002年ジェントルハートプロジェクトを立ち上げ、翌年NPO法人となり、その後活動は全国展開する。講演、展示会、勉強会の開催等の活動を始め、講演回数は1,000回を超える。著書には「いじめのない教室をつくろう」「いじめの中で生きるあなたへ」(共にWAVE出版)がある。

④の講師の紹介 【成山治彦プロフィール】

1946年大阪市生まれ。私立中高校・府立高校教諭を経て、1994年度より13年間大阪府教育委員会で勤務。2007年教育監を最期に定年退職。その後、立命館大学接続教育支援センター教授を経て、2008年度より現職。2013年度より大阪人権博物館理事長を兼務。著書に『格差と貧困に立ち向かう教育ー人権の視点で問い直す』(2010明治図書)『感じ・考え・行動する力を育てる人権教育ー大阪・松原三中校区の実践ー』(2011解放出版社)ほか

全5回!!

2013年度 部落問題連続セミナー

◎第1回 9月14日(土)「部落差別とアイデンティティ」

朝治 武 (大阪人権博物館)

◎第2回 10月12日(土)「ディープおおさかの部落と寄せ場」

吉村 智博 (大阪人権博物館)

◎第3回 11月 9日(土)「いじめと差別」

※特別展の記念講演としておこないます

成山 治彦 (大阪教育大学)

◎第4回 12月14日(土)「語ること・語りを聴くこと」について考える」

熊本 理紗 (近畿大学)

◎第5回 2014年1月11日(土)「排除する社会・排除に抗する学校—同和教育の今日的意義」

西田 芳正 (大阪府立大学)

◇時間: いずれも14:00~15:30

◇会場: 大阪人権博物館 研修室②

◇参加費: 入館料のみ

企画展 水俣病に向きあった医師たち

会期 11月5日(火) ~ 12月19日(土)
会場 リバティおおさか総合展示室 ゾーン2内

水俣病公式確認から57年、今も続く、長い水俣病患者の闘いには、一貫して患者側に寄り、支援した医師たちがいました。彼らは病気と差別に苦しめられていた患者のよりどころなり、裁判では「水俣病とはなにか」を医学的に立証し、その勝利に貢献してきました。今展は、患者に寄り添い、弱者の側に立ちつづけた医師たちの姿、その果たした役割を通じ、水俣病問題の今とこれからを考えようとするものです。

【展示内容】

水俣病事件の歴史
水俣病に向きあった医師たち
チッソ水俣病関西訴訟と阪南中央病

【主催】

阪南中央病院
阪南中央病院労働組合
大阪人権博物館

関連企画

◎展示解説

日時 11月 9日(土)、30日(土) 14時~16時
11月16日(土) (シンポジウム当日) 11時~12時
解説者 村田 三郎 (阪南中央病院副院長・内科医)

◎シンポジウム 「水俣に向きあった医師たち~今とこれから~」

日時 11月16日(土) 13時30分~16時30分
会場 大阪人権博物館リバティホール

シンポジスト

三浦 洋 (阪南中央病院理事長・内科医)
斎藤 恒 (新潟医療生協木戸病院名誉院長)
花田 昌宣 (熊本学園大学水俣学研究センター所長)
田中 泰雄 (弁護士、チッソ水俣病関西訴訟弁護団)
山口 紀洋 (弁護士(溝口訴訟、胎児性水俣病訴訟))
谷 洋一 (水俣病被害者互助会)

コーディネーター

村田 三郎 (阪南中央病院副院長・内科医)
参加費 無料 (当日は「関西文化の日」のため)

*****第2回なにわパティまつり*****
 ~ダンスとパティもいたくさん~2013年11月30日(土)

浪速区は0-CAT周辺(湊町)や通天閣周辺(新世界)には人がたくさん集まります。リパティが立地しているところは北西部の住宅街にあり、同じ浪速区でも賑わいは乏しい。。。ということでリパティおおさかが拠点となって地域の方と協力し盛り上げる祭りを今年も開催致します！ホールでは高校生ダンスや車イスダンス、太鼓、音楽、大道芸など、屋外では食べ物の出店などがあり、盛りたくさん！
当日入館料は無料です。この機会に是非お越しくださいませ。

♪浪速区「イベント特区」対象事業で芦原橋地域再生推進協議会が主催する、「芦原橋アップマーケット」が毎週第3日曜日に芦原橋駅周辺にて開催しております。レザークラフトを中心にオーガニックやこだわり食材、手しごとをたくさん集めたマーケットです。スペシャルライブもあり。
 (出展内容は毎月変更になります)

いのち
 ◆ 企画展 「生命のメッセージ」

※2013年12月、人権週間中にあわせて実施する予定です。

来館者の声(2013年4月~6月)

- ◎人権に答えはないと思いますが、様々な視点での展示が、新しい「気づき」を与えてくれました。貴重な博物館であると改めて思いました。(兵庫県20代)
- ◎ボランティアの解説者がもっといるといいと思います。(京都府60代)
- ◎色々な人びとの生活、差別について勉強でき色々な事を知ることができて、考えさせられました。(大阪府50代)
- ◎月並みな意見しか言えませんが、貴館の存在は今後の社会の中でますます重要になると思います。頑張ってください！(滋賀県40代)
- ◎前回3年前に訪れた時と展示がまるっきり異なっていて、本当におどろいたし、正直とてもショックだった。なんだか一般の学校で学ぶ教科書と同じ印象を受けた…。以前は自分の価値観を見つめ、他人について考える少し難しいけど、深く、とても重要だと思ったからだ。できたら以前の展示にもどってほしいと心から願っている。この博物館は後生へ伝えていくべき、人にとって欠かせない所だと私は思う。(兵庫県10代)
- ◎「人権」は幅広い言葉ですが、それを細かくわかりやすい展示で伝えているので、お子さんから高齢者まで見やすいと思いました。大阪の展示なので、大阪出身でないと分かりにくい部分も多少はあったのかな、と感じました。(兵庫県20代)
- ◎貴重な体験をさせて頂きありがとうございました。個々それぞれだけど、お互い尊重しあい理解しあう気持ちがあれば、争いごともないのかと改めて思いました。“いのちを大切に！”切に願います。「リパティおおさか」を多くの人が利用し思いやりの心がたくさん育ちますように！スタッフの方々これからもがんばってくださいね、応援してます。(大阪府40代)

- 開館時間 通常10:00~16:00(入館は15:30まで)
土曜10:00~17:00(入館は16:30まで)
- 休館日 月曜、祝日、第4金曜
12/20~1/10、3/20~4/10
- 入館料 大人500円(400円)、高・大生300円(200円)
小・中生200円(100円)、65歳以上300円(200円)
障害者(介助者含む)は無料
※()内は有料入館者が20名以上の場合
- 電車でお越しの方 JR環状線「芦原橋駅」南出口、600m



広報リパティ60号 2013年9月1日発行 編集・発行 大阪人権博物館

〒556-0026 大阪市浪速区浪速西3-6-36 TEL 06-6561-5891 FAX 06-6561-5995 ホームページアドレス <http://www.liberty.or.jp/>